

製品安全データシート

1/4

【製造者情報】

会社名 有限会社テクノアーツ
電話 072-254-1074
作成 平成8年10月22日
改定 平成9年9月29日

【製品名】

パーフェクトクリンソフト

【物質の特定】

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 |
| 化学名 | 混合物につき適用外 |
| 成分及び含有量 | 芳香族炭化水素50～60% その他の溶剤 10～20% |
| 化学式又は構造式 | 混合物につき適用外 |
| 官報公示整理番号(k化審法・安衛法) | 混合物につき適用外 |
| C A S No | 混合物につき適用外 |
| 国連分類及び国連番号 | 混合物につき適用外 |

【危険有害性の分類】

分類の名称：引火性液体、急性毒性物質
危険性：可燃性の液体
有害性：有害性情報を参照
環境影響：環境影響情報参照

【応急処置】

眼に入った場合：

- ・清浄な流水で最低15分間以上、目を洗浄したのち、眼科医の手当を受ける。
- ・洗眼の際、眼蓋を指で開いて眼蓋、眼球のすみずみまで水が行きわたるように洗う、

皮膚に付着した場合：

- ・汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
- ・触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄したのち、石鹼等を使ってよく洗い落とす。
- ・外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の手当を受けて下さい。

吸入した場合：

- ・被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
- ・呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う
- ・体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。
- ・直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・無理に吐かせないで、医師の手当を受けさせる。
- ・口から何も与えてはならない。
- ・嘔吐する場合には少なくとも頭部を横に向ける。
- ・意識喪失の危険がある場合には待機や搬送は安定な側臥位で行う。

【火災時の措置】

消火方法：

- ・火元への燃料源を断ち消火剤を使用して消化する。
- ・棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- ・周辺火災の場合、周囲の設備等に放水して冷却する。
- ・移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する、
- ・防災活動に無関係なすべての人を風上に遠ざける。
- ・防災活動をする時に呼吸用保護具を着用する。

消火剤：

- ・粉末、炭酸ガス、乾燥砂又は泡消火剤

大量の場合：

- ・作業の際には、必ず呼吸器用保護具、必要により他の適切な保建具を着用する。
- ・容器・タンク等から流出の防止を行う。ポンプ（防爆用）等により回収で密栓できる金属容器へ移し替える。公共用水域に流さないよう留意する。回収できなかったものは、活性炭による吸着、ウェス等による拭き取りを行う。本製品を吸着・吸収した活性炭等は、特別管理産業廃棄物として処分（焼却等）する。

少量の場合：

- ・本製品が下水や排水溝へ流出、又は地下水へ浸透しないように、活性炭等による吸着や乾燥砂等による吸収を行い、それらは特別管理産業廃棄物として処分（焼却等）する。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い：

- ・屋内作業の場合、局所排気装置を設け、管理濃度以下に保つ、
- ・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない、
- ・蒸気吸入や皮膚との接触のおそれがある場合は、適切な保革具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・容器の栓は、必要なときのみ開栓し、常時密栓しておく。
- ・容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
- ・高温、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
- ・本製品の廃液は、必ず専用容器に回収しておく。

保管：

- ・保管盟所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
- ・床面等は、万一、漏洩があっても公共用水域への流出及び地下への浸透が起らないようにする。
- ・密閉容器に入れ、涼しくて換気の良い場所（冷暗所等）に直射日光や雨水を避けて貯蔵する。
- ・屋外でドラム缶等により貯蔵する場合は屋根を付けつか、カバーをかける等の処置をする。
- ・開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめる。

【暴露防止措置】

管理濃度：未設定

許容濃度：日本産業衛生学会（ 年版）未設定
ACGI11 （ 年版）未設定

枚備対備：密閉型で防爆使用の装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスク

保護眼鏡：ゴーグル型等

保隻手袋：耐溶剤型

保護衣：耐溶剤型の労働衛生保護衣、労働衛生保護長靴、前掛け等

【物理／化学的性質】

外観等：無色透明の液体

沸点：芳香族炭化水素 167℃その他の溶剤 230. 6℃

蒸気圧：

揮発性：

融点：芳香族炭化水素 -35℃以下 その他の溶剤 -70℃以下

比重：0. 922 (20/4℃)

初留点：

溶解度 水：乳化分散する

その他：なし

引火点：芳香族炭化水素46℃ その他の溶剤120℃
発火点：芳香族炭化水素490℃その他の溶剤227℃
爆発限界：芳香族炭化水素データなしその他の溶剤上限24.6vol% 下限0.4%
可燃性：引火する
発火性：なし（自然発火性、水との反応性）
酸化性：なし
自己反応性爆発性：蒸気は空気より重く、低所に滞留して爆発混合気体をつくりやすい、
粉じん爆発性：なし
安定性反応性：通常の取扱い条件においては安定である。
その他：なし

【有害性情報】芳香族炭化水素について（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：皮膚腐食性に関する情報はない。
刺激性：皮膚に対して一次の刺激作用はあるが、皮膚からの吸収による全身中毒の可能性は低い。
（皮膚、眼）

感作性：感作性に関する情報はない。

急性毒性：経口（ラット）LD₅₀ 5,000叫/kg

吸入（ラット）LD₅₀ 18mg/m³4時間

（50%致死量等を含む）

- ・マウスを8,100ppmのブソイドクメン蒸気に暴露した場合、反射消失、麻酔効果などを認めたが、ラットを2,000ppm・8時間・14回反復暴露しても特に異常を認めず、またラットに5ml/kg経口投与した場合10匹中3匹が死亡した剖検により全身の血管拡張、消化管の充血、肺出血を認めたが、生き残った動物は3週間には、なんらの後遺症をも示さずに健康を回復した。

亜急性毒性：亜急性毒性に関する情報はない。

慢性毒性：慢性毒性に関する情報はない。

がん原性：がん原性に関する情報はない。

変異原性：変異原性に関する情報はない。

（微生物、染色体異常）

生殖毒性：生殖毒性に関する情報はない。

催奇形性：催奇形性に関する情報はない。

その他：なし

（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）

注）急性毒性は1, 2, 4-トリメチルベンゼンの情報を記載

【環境影響情報】

分解性：分解性に関する情報はない。

蓄積性：コイをMITI法」で試験した結果、濃縮の程度は中であつた。

魚毒性：魚毒性に関する情報はない。

その他：なし

注）蓄積性は1, 2, 4トリメチルベンゼンの情報を記載

【有害性情報】その他の溶剤について（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：皮膚腐食性に関する情報はない。

刺激性：眼（兎）刺激はかなり強いが、皮膚刺激性は弱い

（皮膚、眼）

感作性：モルモット 陰性（推定）

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 6. 56^g/_{kg}
 経皮 ラット LD₅₀ 4. 12^g/_{kg}
 (50%致死量等を含む)
 吸入死亡率 (飽和) (マウス) 8hrs 0/6 (1回) 障害の可能性あり (反復)

亜急性毒性：亜急性毒性に関する情報はない。

慢性毒性：慢性毒性に関する情報はない。

がん原性：がん原性に関する情報はない。

変異原性：変異原性に関する情報はない。

生殖毒性：生殖毒性に関する情報Iまない。

催奇形性：妊娠マウス Dose 500mg/kg
 母体死亡率 0/50
 新生児出生率 36/37
 新生児生存率 97%

その他：なし
 (水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

【環境影響情報】

分解性：良好と判断される。

蓄積性：蓄積性に関する情報はない。

魚毒性：LC₅₀ (24h) 2,700mg/l (金魚)

その他：水性生物に有毒 LD₅₀ 100-10mg/l

【廃棄上の注意】

大量の場合：特別管理産業廃棄物の処理等に当っては消却を行うなど環境汚染とならない方法で処理・処分する。処理等を外部の業者に委託する場合には、都道府県知事等の許可を受けた特別管理産業廃棄物収集運搬業者及び同処理業者に特別管理産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適性に処理する。

少致の場合：本製品を拭き取ったウェスや少量の液と言えども、そのまま埋め立て、投棄などはしてはならない。必ず専用の密閉できる容器に一時保管して特別管理産業廃棄物として処理処分する。

使用済容器：空容器は、そのまま再利用や廃棄処分をしない。再利用や処分をする際は本製品がなくなるまで洗浄し、洗浄液は無害化処理をする。

焼却する場合：十分な可燃性溶剤、重油等の燃料とともにアフターバーナー、スクラバー等を具備した焼却炉でできるだけ高温で焼却し、排ガスは中和処理を行う。

【輸送上の注意】

注意事項：堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れ密栓して輸送する。
 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 その他、消防法などの法令に定めるところに従う。

【適用法令】

- ・労働安全衛生法（労安法）
 - ・引火性の物
- ・有機溶剤中毒予防規則
 - ・第3種有機溶剤
- ・消防法
 - ・危険物第4類第2石油類危険等級Ⅲ

【その他】

- ・本資料に記載の内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しており、記載の内容は新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。
- ・本資料に記載の内容は情報提供であって、保障するものではありません。

以上